

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第2回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
◇質問の詳しい内容は会議録に掲載しています。会議録の発行予定等については最終面「第2回定例会会議録の公開予定」をご確認ください。

凡例
自由民主党西東京市議団(自 民)
西東京市議会公明党 (公 明)
日本共産党西東京市議団(共 産)
統一会派みらい (みらい)
民主改革フォーラム (民主改)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

新庁舎は西武柳沢駅周辺に新設を
地域を元気に明るく活性化！

たきしま 喜重(みらい)

西武柳沢駅周辺のまちづくりについて、商業活性化の起爆剤となる3・4・18号線の第四次事業化計画への位置づけは、

地域のまちづくりの機運の醸成が必要である。都市計画マスタープランに沿った地域の意見を聞き進める。第四次事業化計画への位置づけは適切に対応する。都市計画マスター

ランは、調布保谷線の開通で生活圏が分断された西武柳沢駅と東伏見駅北口を一緒に考えている。地域ニーズを一体と見るのは危険だ。西武柳沢駅北口は、まちづくり上の改善の余地が残されていると考える。

庁舎統合は合築複合化で無駄に先延ばし等せず、市中心部で災害時対応にも優れ、職員約1千名の購買

市民の声を市政に活かせ！
丁寧な説明と議論が必要だ！

山崎 英昭(みらい)

いつでも安心して暮らせるまちづくり
在宅医療、介護、福祉の連携が大変重要だ。

体制整備に努める。日本一子育てのしやすいまち西東京へ！

子育て世帯の育児負担軽減など支援充実を。財政を勘案しつつ環境づくりに取り組む。

情報公開と広報広聴の充実、ICTの活用で市民の声を反映させよ。

市民参加を進める。さらなる行政改革の断行
PFIやPPPの積極的な活用を。

行革を進める。

安全・安心のまちづくり
歩道道分離やバリアフリー化、安全な自転車利用に積極的な取り組みを。

計画的に整備する。連続立体交差化実現に積極的な取り組みを。

取り組みを進めたい。駅前ロータリー等に荷さばき所を整備せよ。

調査研究する。その他質問等
庁舎統合と市民会館・中央図書館・田無公民館の3館合築は説明不足、市民の声を聞き全市民的な丁寧な議論の積み重ねを

力により、地域活性化策にもつながる場所、西武柳沢駅周辺に新設せよ。
暫定的な対応方策を方針として示した。将来の統合庁舎の位置は、市中心エリアでの統合の可能性を検討していく。

空き家対策のため、職員の市内在住を推進せよ
ふるさと納税受け入れを
武雄と伊万里両図書館を参考に市図書館の方向性を
市民参加条例の検証と、市民討議会開催実現を



西武柳沢駅北口(保谷町3丁目)

市民の安全・安心と
老後を守るために

小峰 和美(みらい)

市立中学校生徒の死亡事案検証委員会報告書が提出され、市教育委員会の行ったきた児童虐待防止対応の課題・問題点が明確になった今、改めてこのような痛ましい事案の再発防止に向けた決意を問う。

児童虐待の早期発見・早期対応のできる学校づくりに努める。
高齢者は、誰もが住みなれた地域や自宅で医療や介護を受けたいと思っている。今後、急速に高齢化が進展し、認知症の方や単

おかしいぞ！庁舎統合先送り案と
思いつきの3館合築複合案！

桐山 ひとみ(みらい)

庁舎統合問題と3館合築複合化について
庁舎統合問題は、丸山市政から本格的に推し進められている。これまで市民からは一定の理解を得ているとの勝手な解釈の中、財政難の折、使途目的が曖昧な庁舎整備基金を設置し、素案で3つのパターンを示して市民説明会、パブコメも実施してきた経緯がある。

の経緯を述べよ。
市民会館・公民館・図書館の耐震補強実施設計を見送り、行革推進委員会からの提言書や附帯意見を踏まえ、公共施設の総量抑制の観点から3施設の合築複合化の検討をした。庁舎統合整備は、合築複合化の方針が決定したことから、保谷庁舎の老朽化への早期対応と市民の合意形成への対応として、暫定案とした。

行革委でも市民会館不要という意見もあったが、事務局案として誘導する3館合築案が資料で示され、市民会館の廃止は困難だと位置づけられた。納得できるものではない。

市民会館・公民館・公民館の耐震補強実施設計を見送り、行革推進委員会からの提言書や附帯意見を踏まえ、公共施設の総量抑制の観点から3施設の合築複合化の検討をした。庁舎統合整備は、合築複合化の方針が決定したことから、保谷庁舎の老朽化への早期対応と市民の合意形成への対応として、暫定案とした。

行革委でも市民会館不要という意見もあったが、事務局案として誘導する3館合築案が資料で示され、市民会館の廃止は困難だと位置づけられた。納得できるものではない。

市民会館・公民館・公民館の耐震補強実施設計を見送り、行革推進委員会からの提言書や附帯意見を踏まえ、公共施設の総量抑制の観点から3施設の合築複合化の検討をした。庁舎統合整備は、合築複合化の方針が決定したことから、保谷庁舎の老朽化への早期対応と市民の合意形成への対応として、暫定案とした。

行革委でも市民会館不要という意見もあったが、事務局案として誘導する3館合築案が資料で示され、市民会館の廃止は困難だと位置づけられた。納得できるものではない。

市民会館・公民館・公民館の耐震補強実施設計を見送り、行革推進委員会からの提言書や附帯意見を踏まえ、公共施設の総量抑制の観点から3施設の合築複合化の検討をした。庁舎統合整備は、合築複合化の方針が決定したことから、保谷庁舎の老朽化への早期対応と市民の合意形成への対応として、暫定案とした。

行革委でも市民会館不要という意見もあったが、事務局案として誘導する3館合築案が資料で示され、市民会館の廃止は困難だと位置づけられた。納得できるものではない。

市民会館・公民館・公民館の耐震補強実施設計を見送り、行革推進委員会からの提言書や附帯意見を踏まえ、公共施設の総量抑制の観点から3施設の合築複合化の検討をした。庁舎統合整備は、合築複合化の方針が決定したことから、保谷庁舎の老朽化への早期対応と市民の合意形成への対応として、暫定案とした。

子どもも大人もSOSを出せる、
受けとめられる環境づくりを！

後藤 ゆう子(ネット)

虐待を受けている児童生徒がそれを認識し、周囲に相談できるようにするためにどのような指導をしていくのか。
教員の研修を実施し、日ごろから児童生徒の行動を見きわめ、虐待に気づく体制を築きながら、信頼関係をきちんとつくる。児童生徒には自尊感情を教え、自分を守る教育を行う。

子育て支援ショートステイ事業の課題は。
利用者が増え、希望どおりに利用できない場合が生じている。

育児疲れの保護者のリピート利用は、児童虐待の予防として機能していることは評価するが、保護者の病気や出産などで緊急時に利用できるように受け入れ枠を増やすべき。

南町・柳沢の交通空白地域対策を
今こそ公民館の再評価を！

かとう 涼子(ネット)

はなバスルート見直しの際、なぜ南町・柳沢地域を検討しなかったのか。
道路幅員が狭いため見直し案に反映していない。
坂が多く近隣に店舗も少ない。各課が連携し、公共交通空白地域の対策を早急に検討すべきだ。

買い物弱者の視点で課長会議を開催し、先進市の視察等を行っている。
学童クラブの定員超過が続く。市としての対策は。保護者ニーズの高い夏休みの居場所づくりが課題と考えるが検討は。
児童館や小学校の教室等を利用し施設確保に引き続き努める。あわせて、

夏季限定の対策と学童以外の居場所づくりも検討する。
田無公民館の合築複合化、ひばりが丘公民館の分室化、使用料・手数料の見直しなど、公民館のあり方にかかわる議論が進む。今後の方向性は。

検討に当たり、公運審、利用者懇談会に十分な情報提供と丁寧な説明を行う。受益者負担については、他の無料施設の検討状況を勘案し慎重に検討を進める。
公民館の受益者は施設利用者にとどまらない。学びを通じて公民館が地域に還元してきたものを、まちづくりの視点からきちんと再評価すべきだ。

夏季限定の対策と学童以外の居場所づくりも検討する。
田無公民館の合築複合化、ひばりが丘公民館の分室化、使用料・手数料の見直しなど、公民館のあり方にかかわる議論が進む。今後の方向性は。

検討に当たり、公運審、利用者懇談会に十分な情報提供と丁寧な説明を行う。受益者負担については、他の無料施設の検討状況を勘案し慎重に検討を進める。
公民館の受益者は施設利用者にとどまらない。学びを通じて公民館が地域に還元してきたものを、まちづくりの視点からきちんと再評価すべきだ。

夏季限定の対策と学童以外の居場所づくりも検討する。
田無公民館の合築複合化、ひばりが丘公民館の分室化、使用料・手数料の見直しなど、公民館のあり方にかかわる議論が進む。今後の方向性は。

